

住民サービスを低下させない支所機能を求める

**Q** 市の行革大綱では平成30年度に支所の在り方を検討し、平成31年度に機能を変えていくとなっているが、支所機能が縮小されると地区住民の生活は大きく影響される。各地区の住民の声をどのように聞き、反映するのか。



ここの せつこ 河野 節子 議員

**A** 行財政改革大綱の中で、組織の見直し、適正な定員配置と併せ、支所の見直しを行うこととしています。内容は、引き続き業務内容を窓口や市民サービスに特化し、支所の役割を発揮するための見直しです。今後、支所の利用実態、市民ニーズを考慮しながら、業務量等に基づく職員の適正配置を図り、より簡素で効率的な組織とするため、支所を含めた市全体の組織の見直しを行います。

**Q** 高齢化が進み交通弱者の利便性を確保しなければ生活していけないとの訴えを聴く。支所と本庁を結ぶ交通手段も同時に考えるべきでは。

**A** 交通弱者に対する対策も、当然考えていかなければならない点であると認識しています。



多くの市民が利用する小見川支所



合併時に懸案事項とした道路整備の進捗状況は

**Q** 合併特例債の活用には、市の中心に向かう道路整備が一番に位置付けられているはずである。市民の切望する道路が進まないと感じるが、市の考えは。

**A** 香取市幹線道路網整備計画に基づき計画的に実施しています。進捗状況は、栗源地区のII・56号線が平成29年度に完成し、現在は、佐原地区のI・10号線、山田地区のI・51号線、I・57号線など、国の補助対象路線を中心に整備している段階です。



ひらの かずのり 平野 和伯 議員

市民切望の高萩・下小野の道路整備を

**Q** 12年前より早期開通が約束されていた高萩・下小野を結ぶ重要路線が着工されていない。通学路であるが事故が多く



高萩・下小野を結ぶ重要路線道路だが今もなお道幅は狭い

公務員のSNSの利用の仕方に問題あり

**Q** SNS※は使い方次第で非常に便利にもなるし、悪用されると事件にもなりかねない。総務省は国家公務員のSNSの私的利用に対する留意点をホームページに掲げているが、地方公務員にも当てはまるか。

**A** 市では、職員に対するSNSの利用に関する規定やガイドラインは策定していないため、職員がフェイスブック※やインスタグラム等に投稿することは制限していません。しかし、毎年、職員向けに実施している情報セキュリティ研修等で、公務員としての自覚を持ったSNSの利用について随時、注意喚起しています。

**Q** 市民のフェイスブックに市民の請願権を脅かすような内容や、事実かどうかの裏付けもなく、勤務時間中に投稿することは、市では許されているのか。

**A** 勤務時間内の投稿が1件ありましたので、本人に注意します。この件は調査する必要がありますので、事実関係を把握してから対処します。

※SNSとは 交友関係を構築するWEBサービス「ソーシャル・ネットワーキング・サービス」の略。  
※フェイスブックとは アメリカのSNSのひとつ。

危険で、市民も危惧している。合併特例債活用期限も迫っている中、平成30年度予算はゼロだが、進捗状況は。

**A** 平成29年度に当該路線の雨水排水にかかる流末までの予備設計を実施した結果、現在、整備中の助沢地先付近の市道I・10号線の調整池が排水流末となるため、慎重な対応が必要と考えます。

**Q** 排水確保に時間が必要と理解したが、危険な道路であるため、待機場所等の対策をお願いしたい。

**A** 安全に通行できるように啓発標識等の設置を検討していきます。

地域活性を維持する生活道のメンテナンスおよび道幅は

**Q** 地元優良企業に向かう市道は幅が狭く、大型車両の通行に支障をきたす枝があり、地元住民の管理範囲を超える枝もあり危険である。企業から道路の道幅を負担する申し出もあるが、市の対応は。

**A** 隣接する土地から枝が伸び、通行の支障となる場合は、土地の所有者が管理することになるため、その土地の所有者へ伐採をお願いしています。道路の道幅要望は、多数の地区から出されているため、引き続き、事業効果を考慮し検討していきます。

**Q** 予算確保に努力しているとのことだが、できるだけ早く開通していただきたい。

**A** 整備には用地買収や排水流末整備の予算も必要なため、全ての整備計画道路に着手することは難しい状況です。今後は、整備計画の再確認も視野に入れながら計画的に進めていきます。